

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	Nozawa Green Fes 2019
事業主体 (連絡先)	Nozawa Green Fes 実行委員会 代表 リヴシー絵美子
事業区分	その他の地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,076,304 円 (うち支援金 : 1,832,000 円)

事業内容

クラフトビールを通して野沢温泉のグリーンシーズンを盛り上げる。

- 1) 海外から有名なブルワリーを招待する
- 2) アウトドア x 自然。野沢温泉の最大の魅力である美しい大自然を最大限に PR

2 回目の開催となる SSBB2019 を通して地元の結束力を強め、より多くの方に美しい野沢温泉の魅力を発信し、フェス自体への来場もそうだが、通年を通して観光客が訪れるきっかけづくりをした。



【イベント会場の様子】

【目標・ねらい】

- ① 野沢温泉グリーンシーズンの魅力発信
- ② 来場者数の前年比増
- ③ イベントへの来場のみならず宿泊や外食などに伴う村全体の経済波及効果
- ④ 地元事業者との結束強化

※自己評価 【 C 】

【理由】

イベント自体は大盛況で来場されたお客様および海外&全国から参加してくれたブルワリーの皆様は全員最高の時間を過ごした、また来年も絶対来たいと言ってきている。来場者数も倍増することができたが、現在の運営方法および経費計上だと当補助金を受け取れないと赤字になってしまうため、補助金なしでは継続が難しい事業プランであるように思う。今後も毎年開催していけるように、2020年開催予定の3回目はビールの売上の勘定方法を検討しなおし、イベント単体で継続して運営可能な体制作りをしたいと思う。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1) SSBB2019 は 2 回目の開催になり、世界中から 2 日間で合計 120 種類のビールを提供することができ、クラフトビールを通じて北竜湖および野沢温泉のグリーンシーズンの魅力発信に貢献できた

2) ブルワリー側の参加を前年の倍に増やすことができ、海外からは 8 社来日した。今年は 2 日間にわたって開催することにして、来場者総数は前年の倍の 600 人ほどに増加することができた。

3) イベントへ訪れたお客様の大半および招待したブルワリーなどの参加者総数約 80 名が野沢温泉に宿泊し、多くの宿が閑散期になってしまう時期にプラスの経済効果を生み出すことができた。また、飲食店やお土産屋などにもプラスの波及効果が見られた。

4) 今年も約 10 社ほど地元の飲食店にフードの露店をお願いしたり、ブルワリーの参加者の滞在先やミーティングの会場として飲食店や宿を使用することにより、地元の間での結束をつよめることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

SSBB2020 の開催に向けて、海外および国内のブルワリーへの参加への声かけ、また県内県外のラジオやテレビ、雑誌やフリーペーパーなど告知により力をいれ、県外はもちろん、県内のお客様にも来場してもらえるように努力をしたい。また、4 年目で降補助金がなくなったとしても継続して開催していけるように損益計算を再度念入りに考え直していきたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある